



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

December, 1989 VII-6

カット 柴田：健

The Service Club to the YMCA  
 Chartered 9, September 1982

## 1989-1990 THEME

IP	ささげつくす ワイズメン	LET'S BE DEDICATED Y'S MEN
RD	ひとつとなつてYMCAへ	HUMAN NETWORK TO THE YMCA
DG	初心に帰れ	
CP	明るく愉快地にクラブライフを	

## EMPHASIS THIS MONTH: JAPAN... EMCの月

### 今月の聖句

神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信ずる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

(ヨハネによる福音書3章16-17節)

### Statistics (統計)

会員数	35名
第1例会会員出席	25名
第2例会会員出席	7名
メイクアップ	1名
出席率	74.28%
ゲスト&ビジター	5名
メネット&コメント	2名

### 1989年11月BF報告

BF	現金	切手
11月	300	1,800Pt
累計	2,250	35,400Pt

9月の切手提供者：山田君、黒田君、掛江君、谷川君、(順不同) 鈴木君、杉浦君、佐藤君、藤本君、上月君、山村君、横山君、田中君、河野君、柴田君、堀君、松本君、湯浅君、足立君、中堂君、松尾君、福永君、YMCA

(注) 11月はBFの月にふさわしく22名の方が切手を持参して下さいました。感謝です。これからもよろしく。

### 12月第2例会(役員会を兼ねる)

日時 1989年12月27日(水)午後6:30-8:30  
 場所 堂島YMCA国際社会奉仕センター

### 12月クリスマス合同例会

大阪ワイズメンズクラブ

大阪センテニアルワイズメンズクラブ

日時 1989年12月20日(水) P.M.6:30-8:30

場所 大阪YMCA会館 チャペル 9F

礼拝 キャンドルサービス

奏楽 大阪クラブ 生地和子姉

聖書朗読 センテニアル 掛江康一君

- 讃美歌 95 「わが心はあまつ神」
- 聖書 ルカ福音書2章1-7節
- 讃美歌 103 「牧人ひつじ」
- 聖書 ルカ福音書2章8-12節
- 祈禱 大阪クラブ 向井 忠治郎君
- 讃美歌 106 「グロリア」

開会の鐘 大阪クラブ 中世古 会長  
 例会 司会 大阪クラブ 尾和 信孝君

1. ワイズソング 一同

2. ゲスト紹介

3. 食前感謝

4. 晩餐

5. 誕生日・結婚記念日のお祝い

6. 皆勤・精勤賞の表彰

7. ニコニコタイム 「YMCAクリスマス献金」

8. 役員会・各委員会報告、YMCAニュース

祝会 司会 センテニアルクラブ 松本常晃君

音楽とゲームの夕べ

ピアノ演奏 センテニアルクラブ 松添壮君

プレゼント交換等

きよしこの夜 一同

閉会の鐘 大阪センテニアルクラブ 山村会長

会費 メン・メネット ￥4,000

コメント ￥3,000

プレゼント交換を行いますので各自、¥1,000程度の物品を包装の上、お持ち下さい。

会場・時刻が変わっていますので、ご注意下さい。

今月の例会担当 森庄司、松添壮、蔭山孝幸、藤原雅己、佐藤勝雄の皆さん、例会の受付等よろしくお願ひします。

## 11月例会報告

山田 孝彦

今月は足立利枝姉の入会式が行なわれ、前月に続き新しい仲間が加わりました。しかも久々の女性メンバーでクラブの雰囲気も一段と華やぐことでしょう。効果てきめん、本日の出席数は26名、74%と嬉しい数字になりました。

メインプログラムはメンバー有本圭希君の貴重な体験レポート「タンデムツアーに参加して」。

彼はこの夏頃しばらく例会に現われず、みんなで心配していたところ、突然テレビに姿を見せて話題となりました。それがこのタンデムツアーなのです。タンデムサイクル、即ち二人乗り自転車でのツアーということですが、目の見える人と不自由な人がペアになり、サンフランシスコからロスアンジェルスまで800キロを、途中キャンプしながら完走するという特異なプログラムとして、日本のテレビでも紹介されました。そしてそこに突然有本君が現れたというわけです。参加者は15名、アメリカ・インド・オーストラリア・オランダ・香港・インドネシア・日本の各国、前に乗るフロントライダーはボランティアというのもアメリカらしいやりかた。途中テントでキャンプをしますが、有本君はインドのマンドラ君とペアを組んだところが、二人とも目がみえないので、いろいろ困難があったようです。テントを組むことさへ初めての経験だったとのこと。キャンプの食事テーブルで食事を済ませたあと自分のテントに戻ろうとしても方向が分からなくて帰れない。色はブルーと聞いていたので、他の人に「ブルーのテントはどちら」と尋ねたら「テントはみんなブルーだ」といわれて困ってしまいました。夜トイレに行こうとテントを離れるときは、必ず一方が残って声を掛け合いながら戻ってくるようにした。「いろんな苦勞はあったけど、草の匂い・鳥の声・道の凸凹を、体で感じながらの気持ちの良い体験であった」という締めくくりが印象的なレポートでありました。

土佐堀クラブの島田直前会長ほか2名のゲストから新年合同例会のアピールがあり多数の参加を確認しました。また、メネット会からは資金活動として、新たに洗剤販売をするとの説明があり、協力を約した。

終了後、IBC各クラブへ毎年恒例のクリスマスカードにするため、全員の記念写真を撮りました。



### HAPPY BIRTHDAY

黒田 巖之君	12.	2
堀 利満君	12.	2
上月 英子	12.	13
中村 隆幸	12.	26

お知らせを幾つか...

### 中西部新年合同例会

日時：1990年1月13日（土）午後2時～5時

会場：大阪YMCA会館 9F

会費：メン 5000円、メネット4000円

コメット3000円

「お笑いあり、福引あり、ホラ吹き大会あり」の楽しい新年合同例会です。

### センテニアル春の一泊親睦会

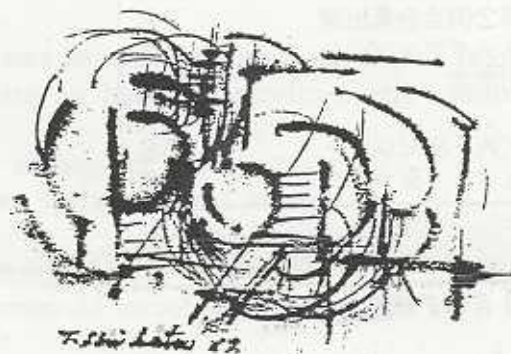
恒例となっております春の一泊親睦会ですが、今年度は来年の4月7日（土）から8日（日）と決まりました。場所は六甲YMCA研修センターです。詳しい計画はまたブリテン紙上でお知らせしてまいりますので、よろしく。

### センテニアル1月例会

センテニアルの新春1月例会は、ビンゴゲームを企画しております。ビンゴゲームで楽しんで、その売上は奉仕活動に！そこで、皆さんのお家に眠っている不要で、しかも「良い！」品を景品として提供していただきたいと考えております。どうかよろしくお願いします。

### CS委員会よりお願い

例年のお年玉つき年賀ハガキの4等当選番号の収集は、本年度も昨年同様一人15枚を目標に行われます。皆様の積極的なご協力をお願いします。



### ハワイ・ヌアヌ便りーブラザー・クラブの動き

近着のブラザー・クラブのニュース・レターが例のサン・フランシスコ地震に遭遇したヌアヌのメンバーの記事を載せています。大変な経験をされたようで、是非、御一読下さい。（谷川）

### EARTHQUAKE 1989 ... SURVIVORS

The devastating EARTHQUAKE rocked the San Francisco Bay Area with a magnitude of 7.0! It ruined many buildings, roadways and caused many deaths! The Marina area

of San Francisco was one of the hardest hit. JAY SHIELDS, one of our newest members, was crossing the street when the quake hit. He had a weird feeling when the yellow line in the crosswalk began to move. After the initial shock, he returned to his motel. There was no electricity or running water. The motel allowed each customer to call home without charge. He could see the smoke from the buildings that were burning a few blocks down the street. JAY spent the night in the darkened motel. He returned to Honolulu the next day.

Meanwhile, MAURICE SHIMONISHI and BILL SUZUKI were on United Flight 812 inbound to San Francisco. The 747 Jumbo jet touched down at 5:04 pm. After taxiing a few seconds, the plane swayed and rocked, left to right!!! The Captain stated that the swaying was from a blast from another plane. As we parked at the gateway, the Captain announced that the swaying motion was caused by an Earthquake! The airport had been evacuated and we had no jetway to deplane! After a few minutes the Captain stated that they will bring the stairs for us to deplane. Through the portholes you could see the water gushing down into the lobby area of the airport and onto the runway!

After deplaning, we were taken to a central area, the north parking lot. The airport was closed and no cars were moving out. BILL had a reservation at AMFAC hotel nearby. He began to walk to the hotel. Upon reaching the hotel, he found that one of the walls in the hotel had collapsed. The hotel was closed! BILL spent the night in the HILTON hotel lobby.

MAURICE waited for a plane to fly to Fresno, but to no avail. It was getting dark and hundreds of passengers were still in the parking lot. United Airlines decided to fly the passengers out of San Francisco on whatever planes were available. MAURICE took the last flight out and ended in Seattle.



## 「THE YMCA」に谷川君の記事

日本YMCA同盟の機関誌「THE YMCA」の「ワイズニュース」欄12月号に、次のような谷川君の記事が載っています。協力会員になっているワイズメンにこの新聞は送られて来ています。もし、未だ協力会員になっていない人のために、以下に掲載します。



TOFとは、タイム・オブ・ファーストの略です。日本語では「断食の時」と訳されています。毎月二月の例会の食事をスキップ（断食）して、その食事代を「世界の恵まれない子供達」のために使うサービス事業です。

現在のテーマ「世界の恵まれない子供達」は、1985年に始まりました。その前年の1984年にTOF・ES委員長をしていた私は、当時世界YMCA同盟で難民事業を担当していた宮崎さん（現日本YMCA同盟総主事）をジュネーブに訪ねました。

ワイズ本部のエ・ウォーリンも加わり、次のTOF事業のテーマを何にするか協議しました。その前年度までのテーマがあまり人気なかったからです。宮崎さんから、世界各地のYMCAが求めているのは、子供達を対象とした事業の活動資金であることを聞かされました。協議をして最初に選んだ四つの国（パナマ、ガーナ等）は、PRの資料も豊富にあり、これなら世界のワイズメンにアピールするものと大いに期待しました。

### 「TOF」の話

谷川 寛

かくして、1985年に始まった「世界の恵まれない子供達」の事業は、今も続いており、TOFの16年の歴史の中でも、最も人気のあるテーマでしょう。当初の募金目標の年間10万\$は、とっくに突破しました。

その後、世界Y同盟の縮小から、TOF資金は現在、世界各地域のY同盟を通して配分されています。日本のワイズメンの集めた資金は、アジア同盟（在香港）を通じて、アジアの恵まれない子供達のために、今日も生かされています。

その後、世界Y同盟の縮小から、TOF資金は現在、世界各地域のY同盟を通して配分されています。日本のワイズメンの集めた資金は、アジア同盟（在香港）を通じて、アジアの恵まれない子供達のために、今日も生かされています。

その後、世界Y同盟の縮小から、TOF資金は現在、世界各地域のY同盟を通して配分されています。日本のワイズメンの集めた資金は、アジア同盟（在香港）を通じて、アジアの恵まれない子供達のために、今日も生かされています。

その後、世界Y同盟の縮小から、TOF資金は現在、世界各地域のY同盟を通して配分されています。日本のワイズメンの集めた資金は、アジア同盟（在香港）を通じて、アジアの恵まれない子供達のために、今日も生かされています。

その後、世界Y同盟の縮小から、TOF資金は現在、世界各地域のY同盟を通して配分されています。日本のワイズメンの集めた資金は、アジア同盟（在香港）を通じて、アジアの恵まれない子供達のために、今日も生かされています。

## 自己紹介

### 足立利枝

11月13日に入会させていただきました足立です。長友、杉浦氏にすすめられるまま例会に参加したのをきっかけに入会に至ったのですが、未だY's men活動の精神を理解したとは言い難く、今後の皆様のご指導をお願いします。次第です。

さて改めて自己紹介をすると、何から書いていいものやら、少なからず戸惑いを感じます。久しく自分自身のことを語ったり、書いたりすることから遠ざかり、日々を忙しく過ごすままに流されてきたことに改めて気付かされます。

前置きは以上にして、自己紹介は我が職業から。神戸女子薬科大学、図書館等勤務9年余り。大学図書館には独自の時の流れがあります。それは、本を読み、考えるということを中心としたテンポというべきものでしょうか。

私は本職に就く前に企業に在籍していたこともあり、世の中の様々なテンポを理解していたつもりですが、この図書館独自のテンポに当初は当惑したものです。そして次第にどっぷりとその中に身をひたしてそれなりの快適さを味わっていたのですが、...時移り、瞬時にして世界の彼方から情報や資料を取り寄せたり、コンピュータで図書館資料を管理したりする今日この頃では、世の中の早い時間の流れに歩調を合わせねばならなくなってきました。

仕事を取り巻く状況のこのような変化が、世の中の有り様をいやがうえにも考えさせてくれます。そして、その一方にある家庭生活は、仕事で不在がちな連れ合い、思春期突入の中学生2人、そして小学4年生というギャングエイジの次男、年老いた母、それぞれの生活のリズムがテンデバラバラなのを何とかまとめた生活というのは中々にスリリングなものとなっています。

受験についてナマイキ息子と相談しあうことから、日々の食事づくりまで、目まぐるしく変化していきます。こんな生活、職業ともに追いまわられる時間のテンポとは別に、様々な生き方をされてきた方々、様々な考えの方々と接して語り考える機会がY's menの中で得られることが何よりも今の私にとって最大の幸せになるような予感があるのです。

どうぞよろしく願いいたします。



## 私の家族

### 鈴木美藤

不思議な導きで鈴木謙介の妻となつてはやくも51年です。新家庭は華北の保定で始まりました。紀元2600年(昭和15年)の紀元節(2月11日)の早朝長男が出生。自慢の種の良い子でした。北京から徐州へ。鈴木勤め先(大丸)を移り住みました。その徐州で長男は腸炎で2年7カ月の短い命を失って召天。徐州では次男長女が出生。戦局が激しくなつて私と子供二人とは安全な北京に移住。主人は終戦まで徐州に勤務。主人は昭和20年10月徐州を出て12月北京に到着。途中は厳寒の荒野を徒歩の旅でした。昭和21年の夏、華北として最後の引揚船で故国に帰りました。主人は勤め先(大丸)が健在で職務を続け、大阪本社と東京店に主に勤務でした。住居は大阪松虫、東京駒沢、芦屋、渋谷、御影に移り住みました。

子供は中国生まれ2人、日本生まれ1人で息子1、娘2です。それぞれ子供2人づつを与えられて孫の数は計6人です。メンは77才、私メネットは今年74才の老女です。むかし結婚挙式をして頂いた岡本教会に今も通っております。

ワイズの会合は国際大会、エリヤ大会、区大会、部会には可能な限り出席に励みました。大勢の内外の親しい友が出来て、それは我々の宝物です。

私の趣味は植物栽培、鑑賞、菜食主義。主人の方は、読書の外、雑多な様に見られます。

## ワイズソング

-1-

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing,  
We raise our hand, our service pledge renewing,

Ne'er to deny our motto's claim  
Y's Men in fact as well as name

Always our objects to pursue  
We consecrate ourselves a new

-2-

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて

とおきも ちかきもみな  
ささげて たつやY's men

さかえと ほまれゆたか  
まことは むねにあふれん